Flex Signal セットアップ手順書

第 8.5 版

当社に無断で本資料の掲載内容を転載することはご遠慮下さい。

©2013 Flex Signal

はじめに

本書は、Flex Signal のセットアップ手順をまとめた資料です。

改訂履歴

版	日付	改訂内容
1.0	２０１４年１０月２７日	初版
1.1	２０１５年3月２５日	文言修正
2.0	２０１５年9月3日	インストーラー追加のために手順変更
2.1	２０１６年6月２１日	認証キー発行問い合わせ先メールアドレス追加
2.2	２０１７年1月6日	インストール作業を行うユーザについての諸注意追加 信号灯の設定について追加
2.3	２０１７年2月２２日	推奨する動作環境について追加
3.0	２０１７年5月２５日	メニュー表示方法変更追加 アンインストール手順追加
4.0	２０１８年5月7日	推奨する動作環境について変更 IIS の設定に Windows10、Windows Server2016 の手順追加 キャプチャ修正
4.1	２０１８年6月２８日	MENU キャプチャ変更
4.2	２０１８年8月1日	文言修正
4.3	２０１８年８月 16 日	事前準備確認内容追加 よくあるお問合せ追加
5.0	２０１９年６月１日	文言修正
6.0	２０２０年６月１日	よくあるお問合せ内容追加
6.1	２０２０年6月5日	基本設定画面の変更
7.0	２０２０年７月 31 日	ライセンス認証方法を Web に変更
8.0	２０２１年3月１日	LA6-POE 設定方法追加 CD インストールの方のライセンス認証を追記 住所・HP リンク削除
8.1	２０２１年8月31 日	MENU キャプチャ変更
8.2	２０２２年１２月８日	動作環境の Framework を.NET Framework 4.6 に変更 IIS の設定の ASP.NET、.NET 拡張機能のバージョンについて追記
8.3	２０24年2月8日	推奨 OS に Windows11、Windows Server2019 を追加

8.4	２０２４年6月３日	Framework / ブラウザバージョン更新
8.5	２０２５年6月2日	推奨 OS に Windows Server2022、2025 を追加

目次

１． 動作環境 8

２． セットアップのための事前準備 9

（1）セットアップをする前に 9

（2）セットアップに必要となるもの 9

３． IIS の設定 10

（1）Windows10, 11 の場合 10

（2）Windows Server2016,2019,2022,2025 の場合 14

４． システムインストール 22

５． システム動作確認 27

（1）システム起動確認 27

（2）ウェブサイト確認 28

６． ライセンス認証 35

７． 信号灯の設定 38

８． アンインストール 39

９． よくあるお問合せ 42

（1）インストール画面の「次へ」が押せない 42

（2）セットアップが正常に完了しない 42

（3）インストール完了したのにデータが出てこない 43

（4）認証に失敗する 43

（5）信号灯の設定をしたのにデータが表示されない 43

（6）他の PC から FlexSignal を見たい 44

（7）HTTP エラーが表示される 44

（8）信号灯設定にて識別 ID の一覧が表示されない 45

（9）稼働状況グラフのトータルが１００%を超えてしまう 46

（１０）LA6-POE　を使用したい 47

セットアップ項目一覧

	No.	セットアップ項目	章
□	1	動作環境	1.
□	2	セットアップのための事前準備	2.
□	3	IIS の設定	3.
□	4	システムインストール	4.
□	5	システム動作確認	5.
□	6	ライセンス認証	6.
□	7	信号灯の設定	7.
		以上	

※実行した項目にチェックをつけて下さい。

1． 動作環境

インストールするパソコンの環境は下記の物をご確認ください。

「表１：推奨環境」

No.	項目	環境
1	推奨 OS	Windows10、Windows11 Windows Server2016、Windows Server2019 Windows Server2022、Windows Server2025
2	IIS	IIS 7.0 以降
3	Framework	.NET Framework 4.8
4	ブラウザ	Chrome
5	インストールユーザ	Administrator 権限があるユーザ

2． セットアップのための事前準備

セットアップを行うためには下記が必要です。

(1) セットアップをする前に

下記項目ができていることを必ず確認してください。

「表１：セットアップをする前に確認すること」

No.	項目	
1	送信機－受信機間の通信	□
2	受信機－インストール PC 間の通信（※１）	□

※１ USB 接続はできません。LAN 接続にてご利用ください。

(2) セットアップに必要となるもの

下記項目がお手元に準備できていることを必ず確認して下さい。

「表２：セットアップに必要となるもの」

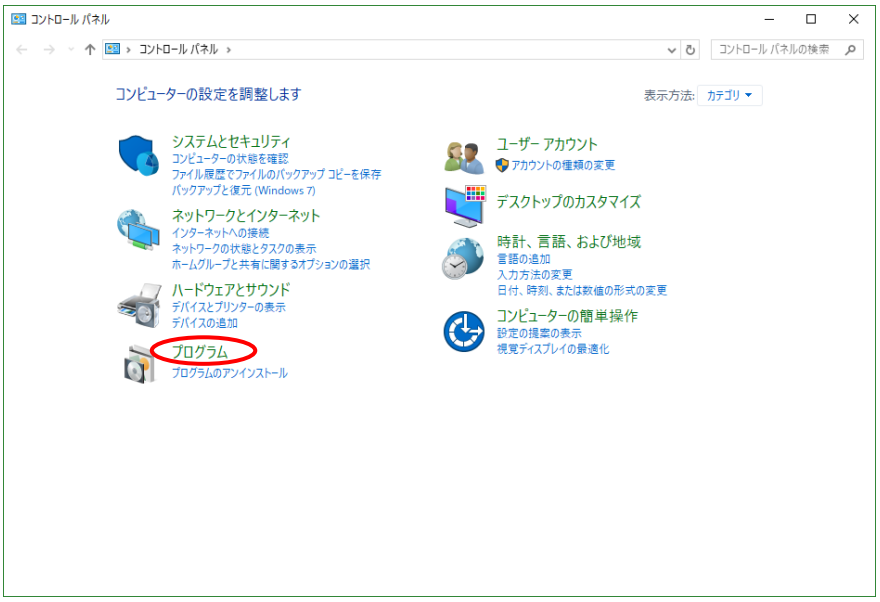
No.	項目	説明	
1	FSSetup_x.x.x.x.exe (FlexSignal インストーラ)	FlexSignal ウェブサイトからダウンロードした FlexSignal インストーラ。	□
2	カスタマーキー	FlexSingal のユーザ登録時に東海ソフトよりメール[ユーザー情報登録完了のお知らせ]でご連絡したキー。 ※CD インストール(ライセンス証書をお持ち)の方はライセンス証書に記載しているカスタマーキー	□

※パトライト社製 WDS-AUTO2、WDS-Win01 との併用は出来ません。FlexSignal ご使用時は WD-AUTO2 を終了してください。

3． IISの設定

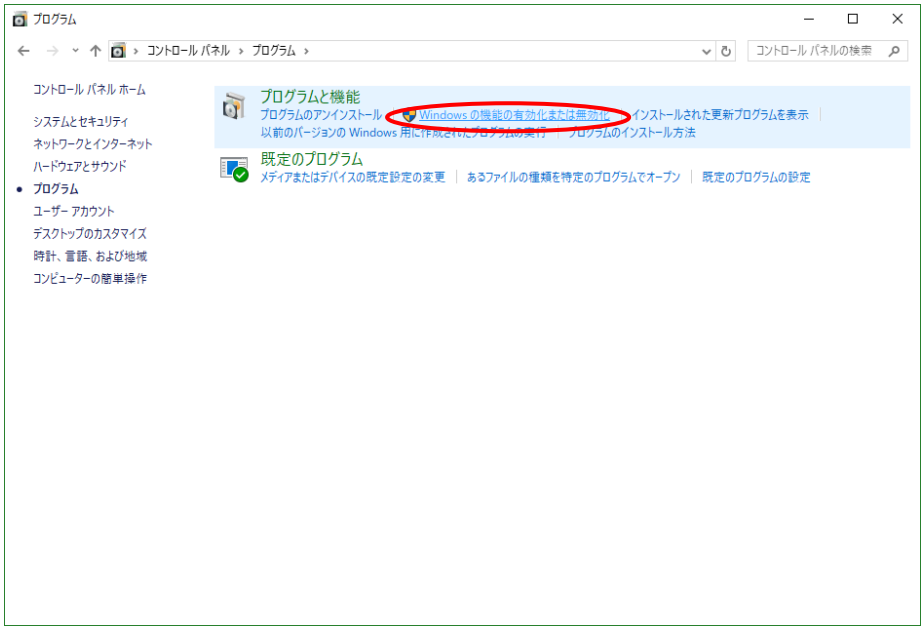
（1）Windows10, 11 の場合

1. 「スタートメニュー」―「Windows システムツール」―「コントロールパネル」を選択して下さい。
2. 「プログラム」を選択して下さい。



「図１：プログラム」

3. 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択して下さい。



「図２：Windows の機能の有効化または無効化」

下記項目を順にチェックして、「ＯＫ」を選択して下さい。

①IIS 管理コンソール

②ASP.NET4.8

（ASP.NET 4.6 以上であれば問題ありません。）

③HTTP エラー

④HTTP リダイレクト

⑤ディレクトリの参照

⑥既定のドキュメント

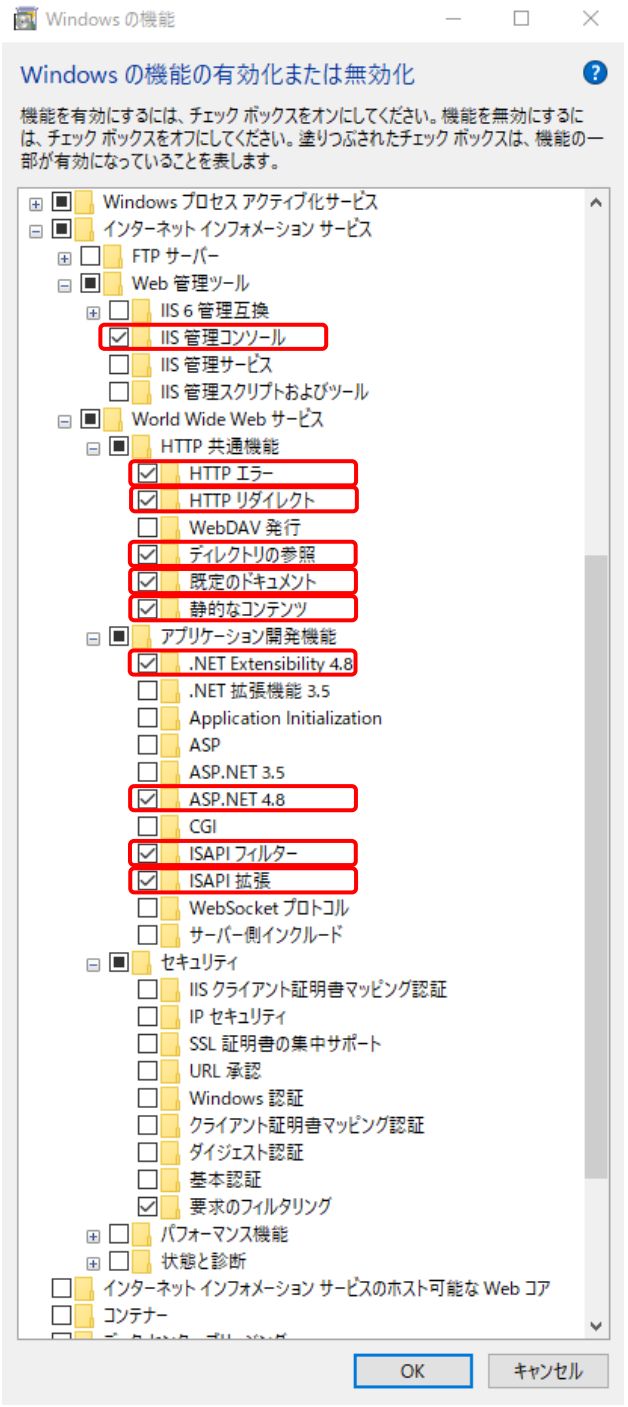
⑦静的コンテンツ

⑧.NET 拡張機能 4.8

（.NET 拡張機能または.NET Extensibility の 4.6 以上であれば問題ありません。）

⑨ISAPI フィルター

⑩ISAPI 拡張機能



「図３：IIS 設定対象項目」

（2）Windows Server2016,2019,2022,2025 の場合

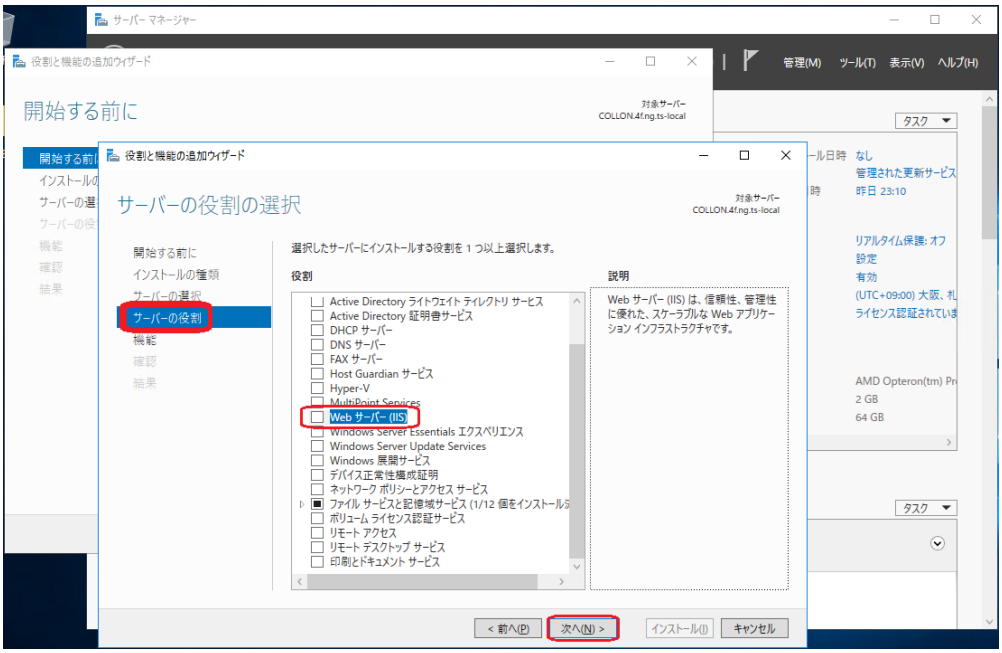
1. 「スタート」―「Windows システムツール」―「コントロールパネル」を選択して下さい。
2. 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択して下さい。

「図４：コントロールパネル」

3. 「サーバーの役割」を選択して下さい。

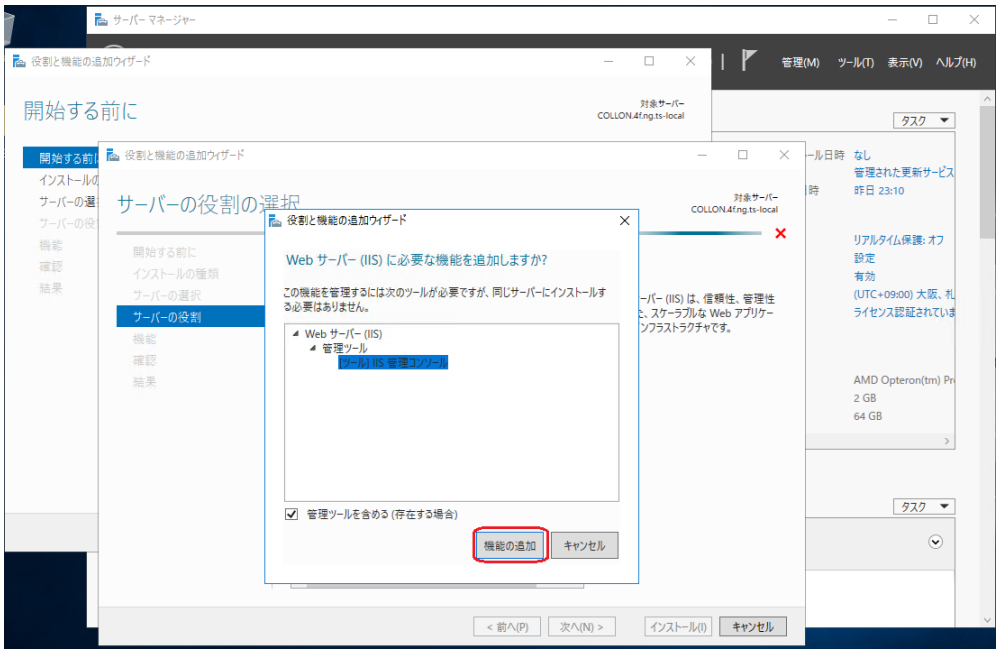
※選択できない場合、一度「サーバーの選択」をクリックすると選択できるようになります。

4. 「Web サーバー」をチェックし、「次へ」をクリックして下さい。



「図５：役割と機能の追加ウィザード」

5. 「機能の追加」をクリックして下さい。



「図 6 ：Web サーバーの追加」

6. 「役割サービス」を選択し、下記項目を順にチェックして下さい。

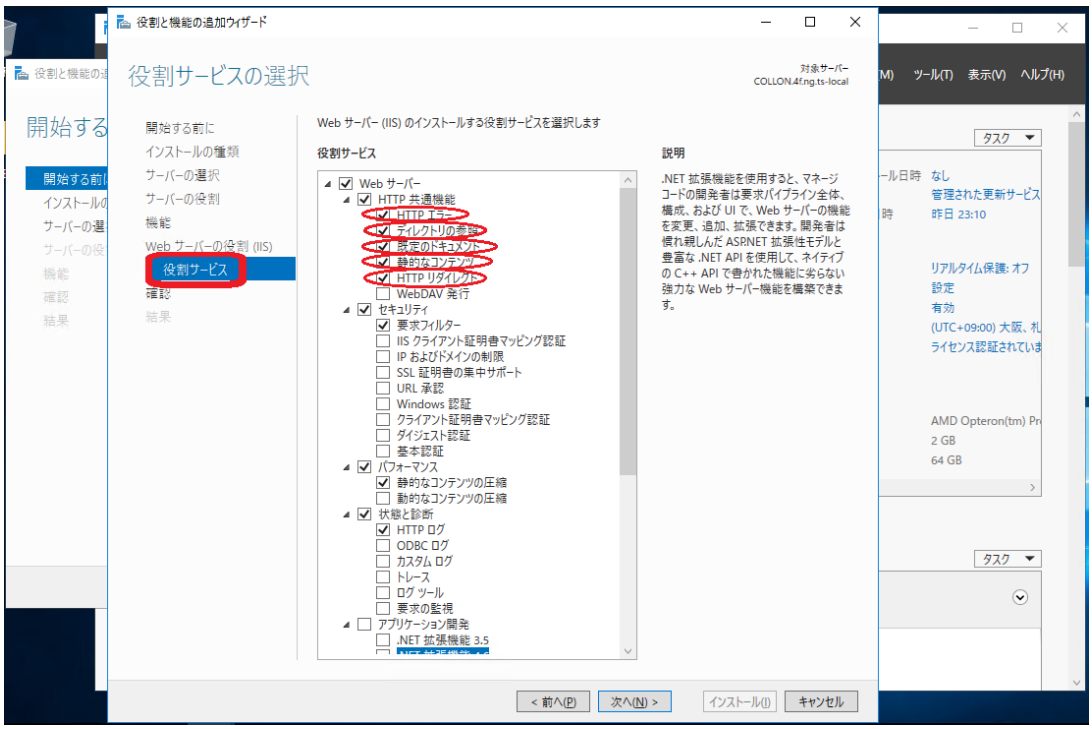
① HTTP エラー

② ディレクトリの参照

③ 既定のドキュメント

④ 静的なコンテンツ

⑤ HTTP リダイレクト



「図 7 ：HTTP 共通機能の追加項目」

7. 「アプリケーション開発」－「.NET 拡張機能 4.6」をクリックして下さい。

   （.NET 拡張機能または.NET Extensibility の 4.6 以上であれば問題ありません。）

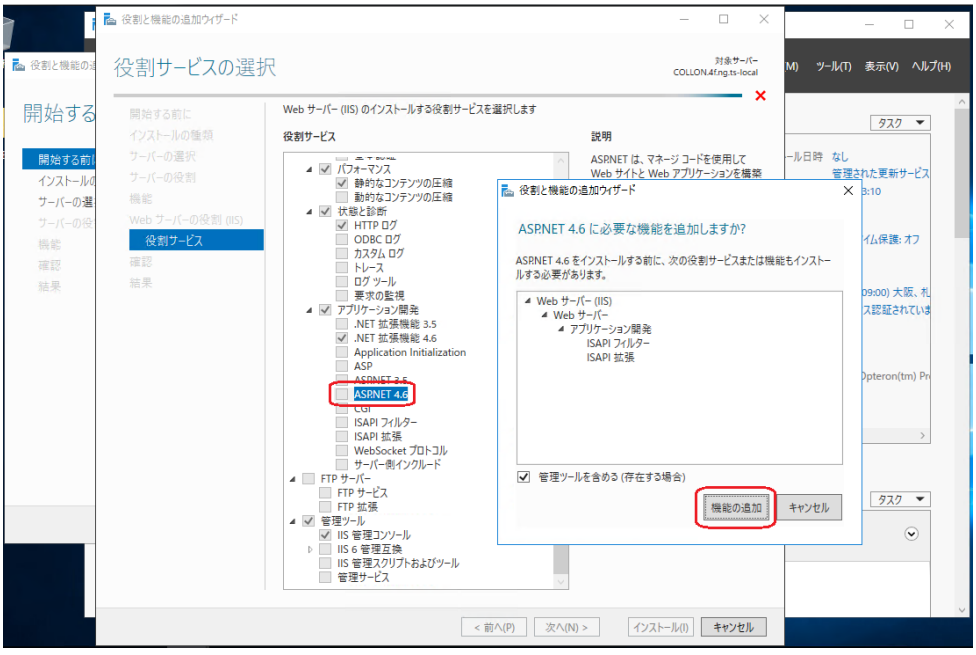
8. 「機能の追加」をクリックして下さい。

「図８：.NET 拡張機能 4.6 の追加」

9. 「アプリケーション開発」－「ASP.NET 4.6」をクリックして下さい。

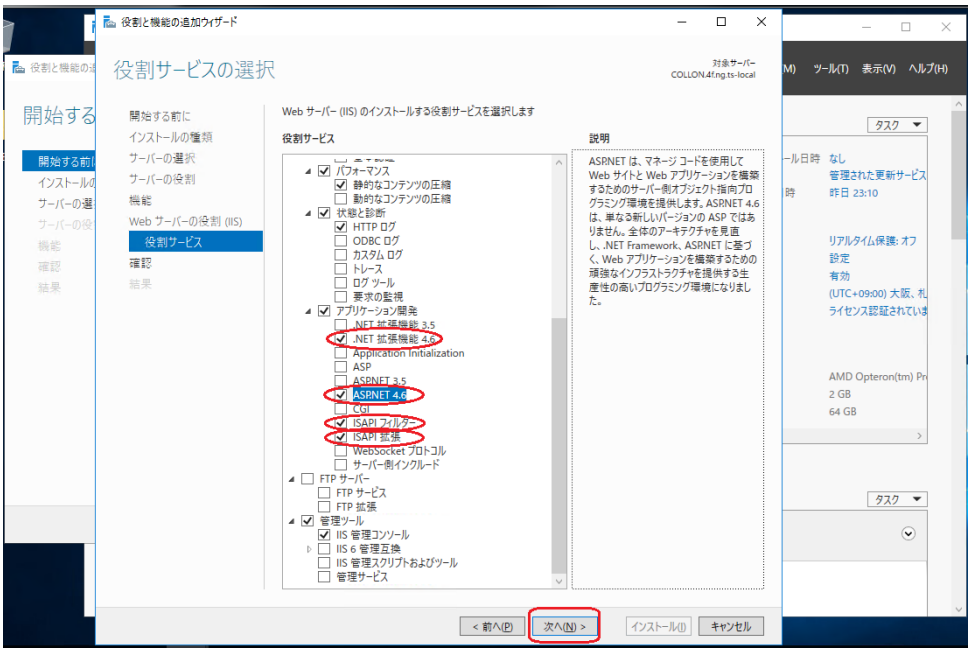
   （ASP.NET 4.6 以上であれば問題ありません。）

10. 「機能の追加」をクリックして下さい。



「図９：ASP.NET 4.6 の追加」

11.「次へ」をクリックして下さい。



「図１０：アプリケーション機能の追加項目」

12. 下記項目が選択されているか、確認してください。

① IIS 管理コンソール

② ASP.NET 4.6

（ASP.NET 4.6 以上であれば問題ありません。）

③ ISAPI 拡張

④ ISAPI フィルター

⑤ NET 拡張機能 4.6

（.NET 拡張機能または.NET Extensibility の 4.6 以上であれば問題ありません。）

⑥ 既定のドキュメント

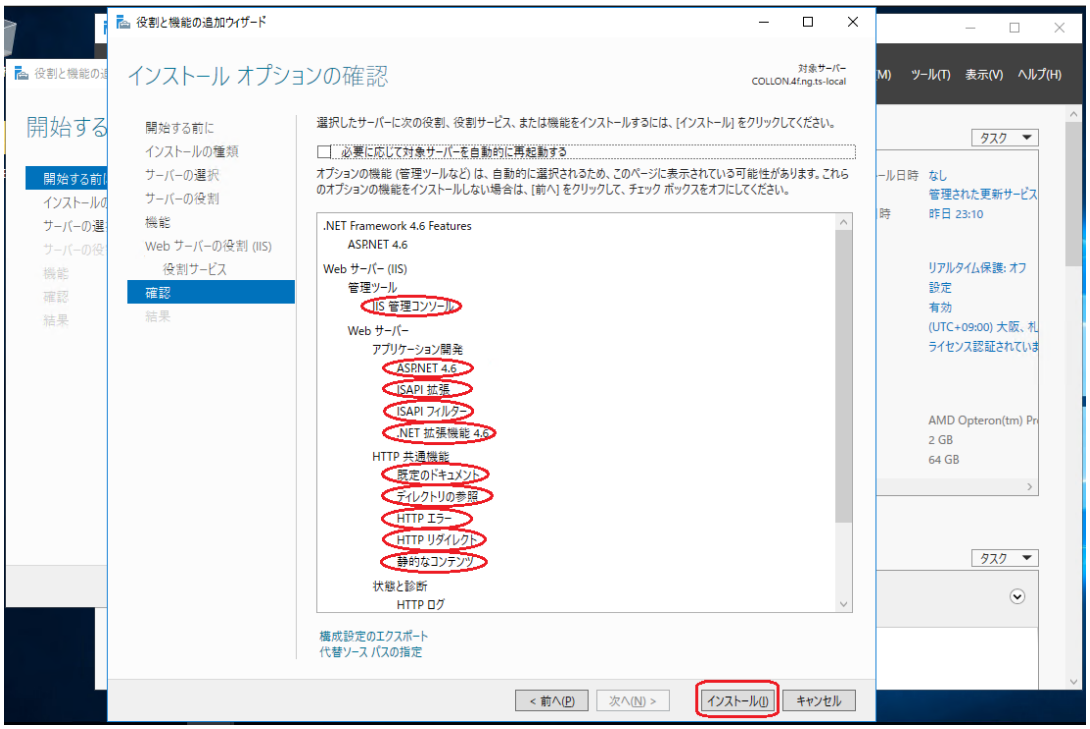
⑦ ディレクトリの参照

⑧ HTTP エラー

⑨ HTTP リダイレクト

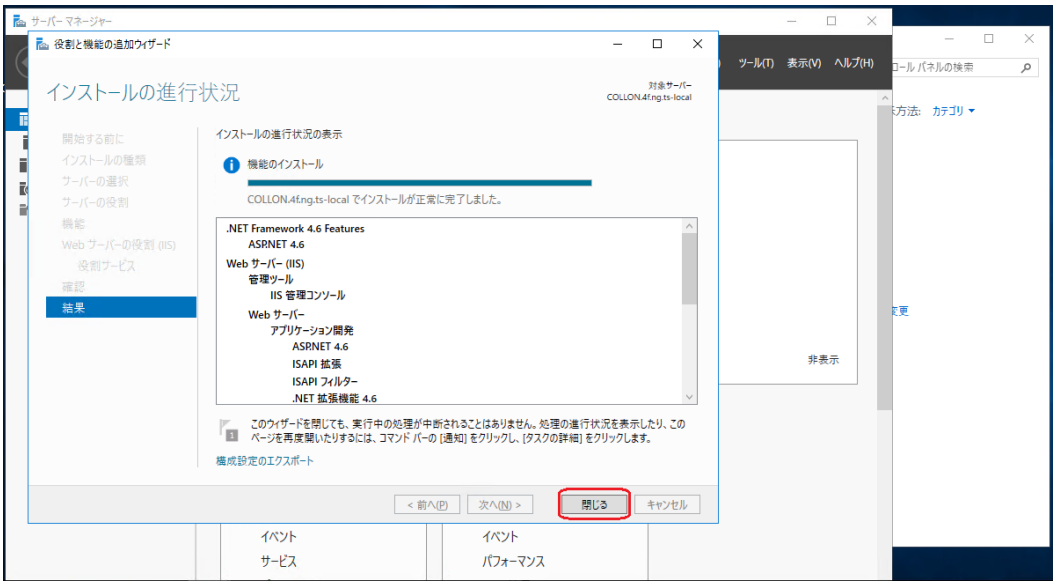
⑩ 静的なコンテンツ

13.「インストール」をクリックして下さい。



「図１１：インストール確認」

14.インストールが完了したら、「閉じる」をクリックして下さい。



「図１２：インストール完了」

15.「インストール」をクリックし、完了したら「閉じる」をクリックして下さい。

４． システムインストール

1. ダウンロードサイトからダウンロードした「FSSetup_x.x.x.x.exe」を起動してください。

   ※CD インストールの方はセットアップメディア挿入後、「FSSetup_x.x.x.x.exe」を起動してください。

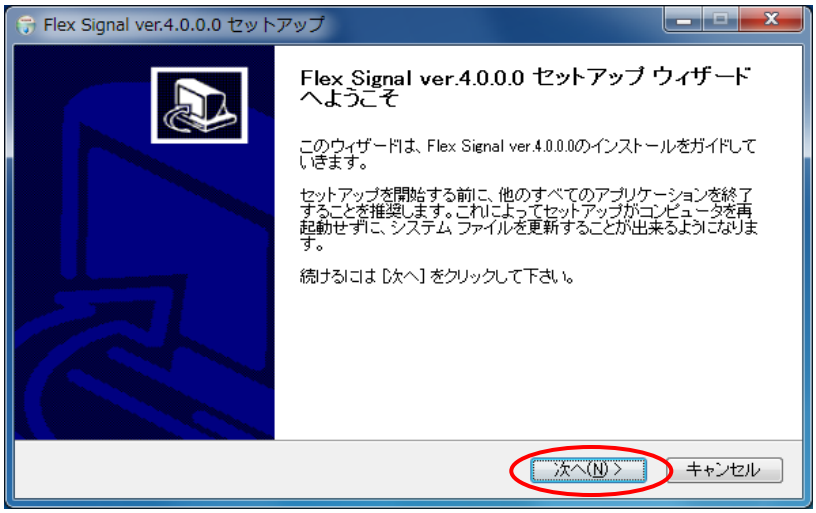
   「図１：セットアップ画面」が起動します。

   ※管理者権限ありのユーザで行って下さい。

   ※選択するファイルの名称「FSSetup_x.x.x.x.exe」の x には数字が入ります。

   （例：「FSSetup_2.0.0.0.exe」）

2. 「次へ」を選択して下さい。



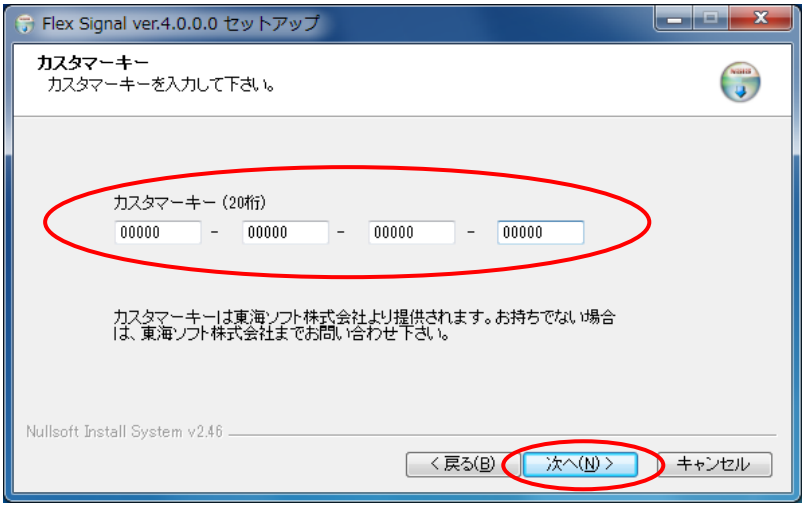
「図１：セットアップ画面」

3. カスタマーキーを入力し、「次へ」を選択して下さい。

※「カスタマーキー」はメール「ユーザー情報登録完了のお知らせ」をご確認ください。

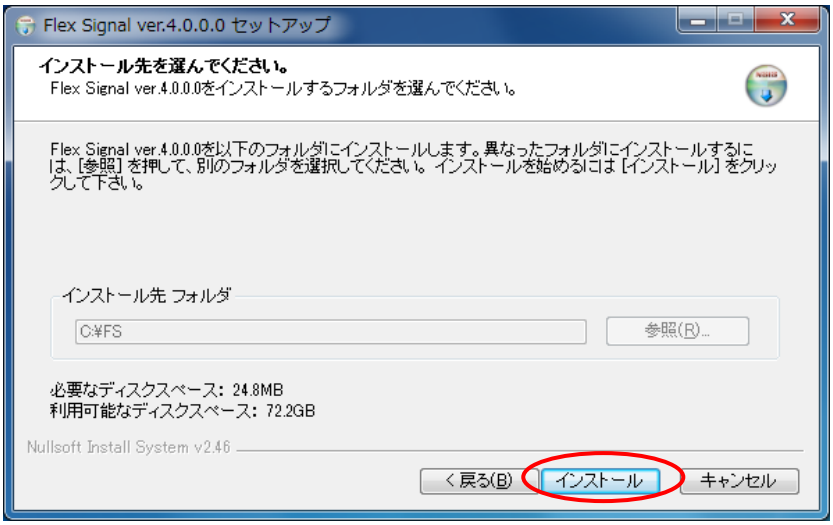
※CD インストールの方は「ライセンス証書」をご確認ください。

※ライセンス認証済みの場合は、「図２：セットアップカスタマーキー入力画面」は表示されません。



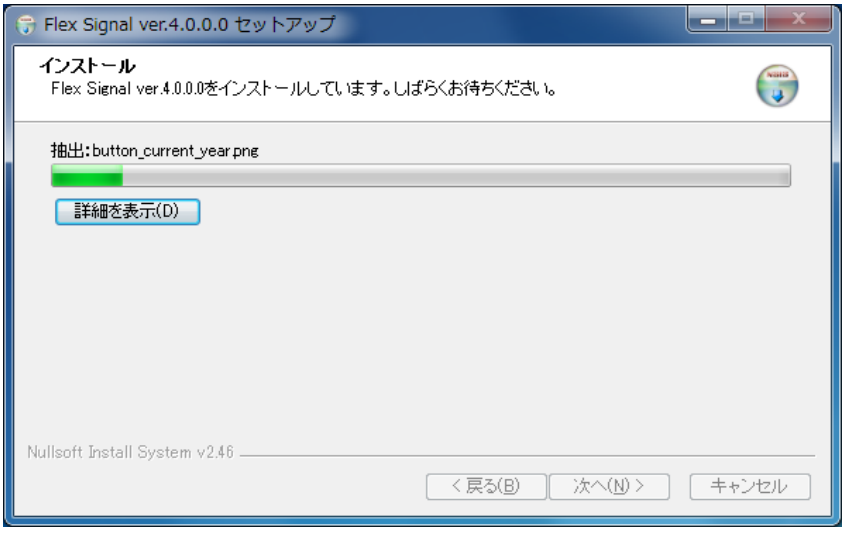
「図２：セットアップカスタマーキー入力画面」

4. 「インストール」を選択して下さい。



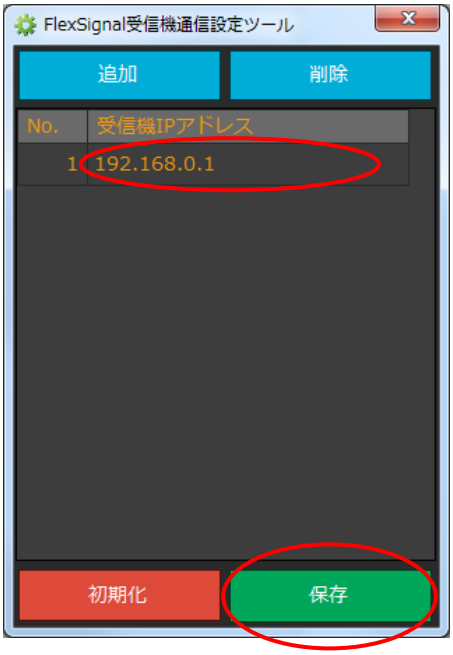
「図３：セットアップインストール先画面」

5. インストールが始まります。



「図４：セットアップインストール中画面」

6. インストールの途中で、「FlexSignal 受信機通信設定ツール」が起動します。ご使用の受信機IP アドレスを入力し、設定を保存してください。



「図５：FlexSignal 受信機通信設定ツール」

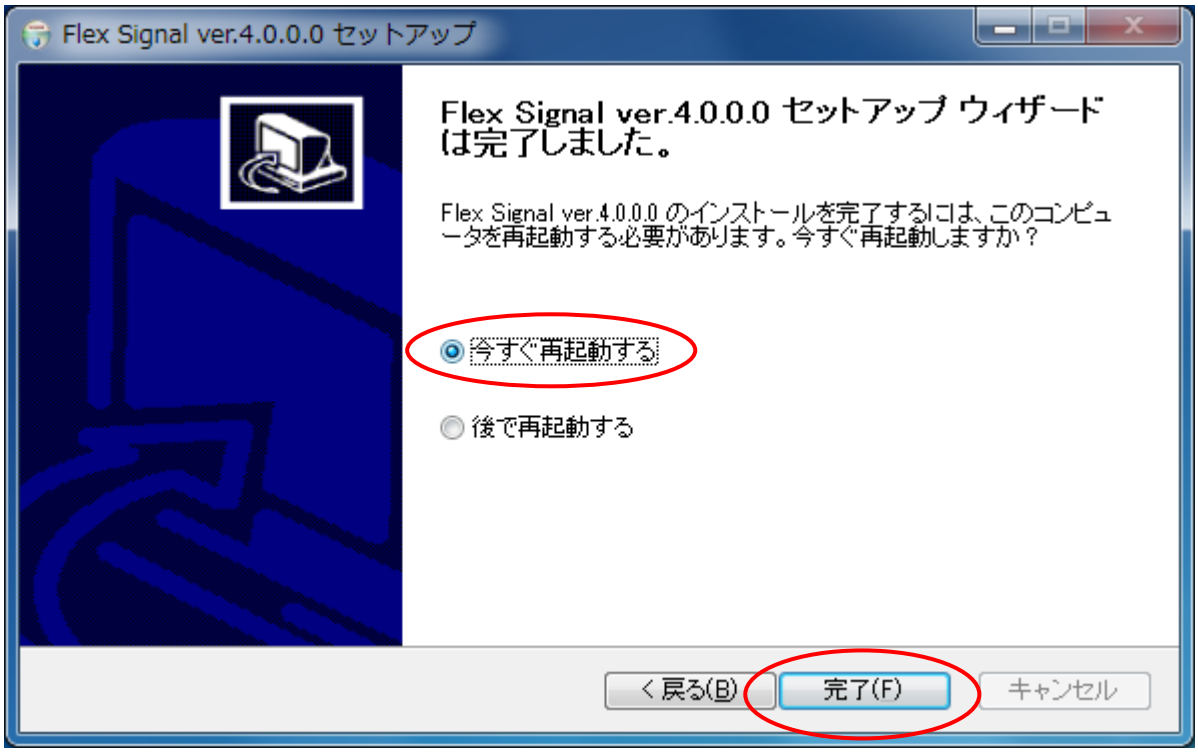
後ほど行う場合は、そのまま「×」で画面を閉じて下さい。

※FlexSignal 受信機通信設定ツールについては「FSConfManager Manual」をご確認下さい。

「図６：FlexSignal 受信機通信設定ツール」

7. セットアップ完了画面が表示されましたら「今すぐ再起動する」を選択して下さい。

※「後で再起動する」を選択した場合は、必ず手動で PC の再起動をして下さい。

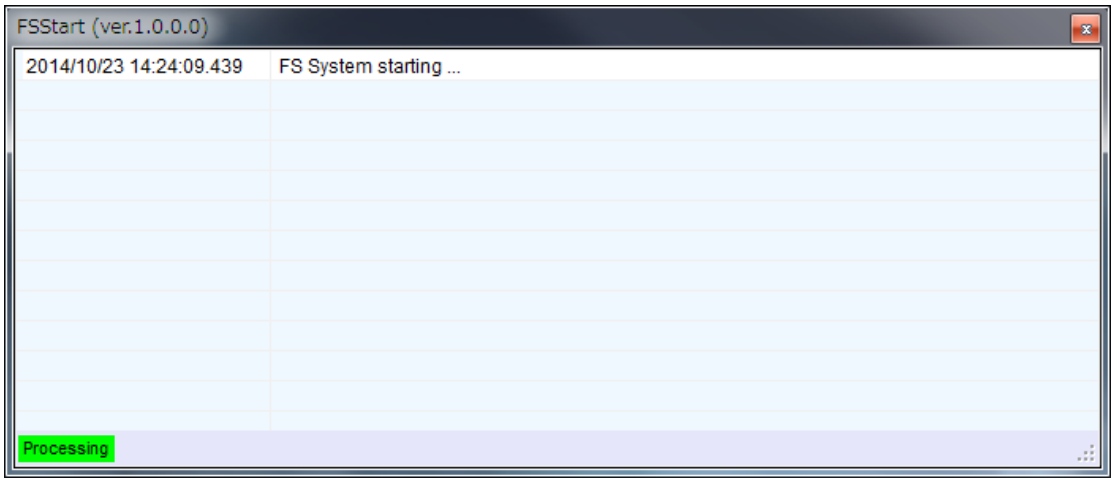


「図７：セットアップ完了画面」

5． システム動作確認

（1）システム起動確認

1．PC 再起動後、「図１：FSStart」が表示されることを確認して下さい。



「図１：FSStart」

2．１分～2 分ほど待つと「図１：FSStart」の画面が自動で閉じることを確認して下さい。

（2）ウェブサイト確認

1．「スタート」―「すべてのプログラム」―「Flex Signal」―「FlexSignal」を選択して下さい。

※スタートメニュー内に「FlexSignal」が存在しない場合、ブラウザを起動して URL に「localhost/fs」と入力してください。

「図２：ウェブサイト初期画面」が表示されることを確認して下さい。

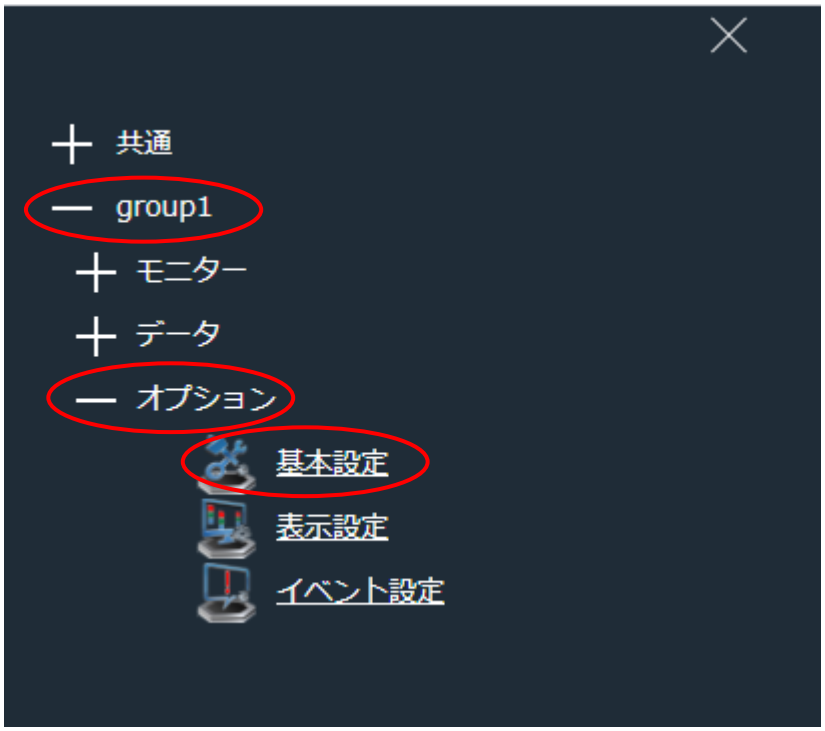
「図２：ウェブサイト初期画面」

※「HTTP エラー」が表示された場合、「本冊子９．よくあるお問い合わせ(7)」をご確認下さい。

2．FlexSignal をインストールした PC と同一のネットワークにある別 PC から、「http:// IP アドレス/FS」にアクセスして下さい。

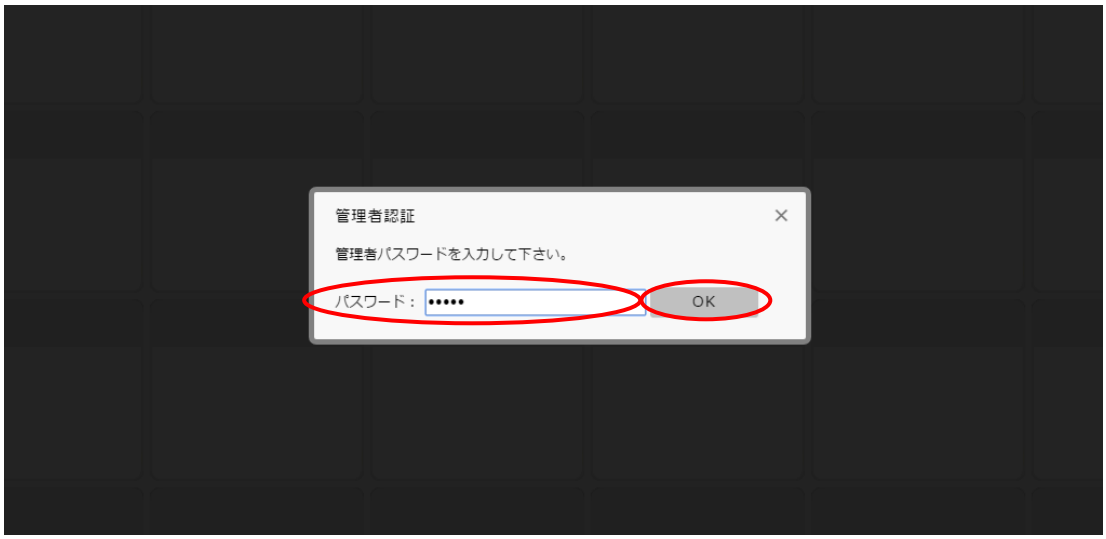
※IP アドレスには、FlexSignal をインストールした PC の IP アドレスを入力してください。
例「http://192.168.0.10/FS」
「図２：ウェブサイト初期画面」が表示されることを確認して下さい。

3．ウェブサイト上部の「MENU」―「group1」―「オプション」―「基本設定」を選択して下さい。



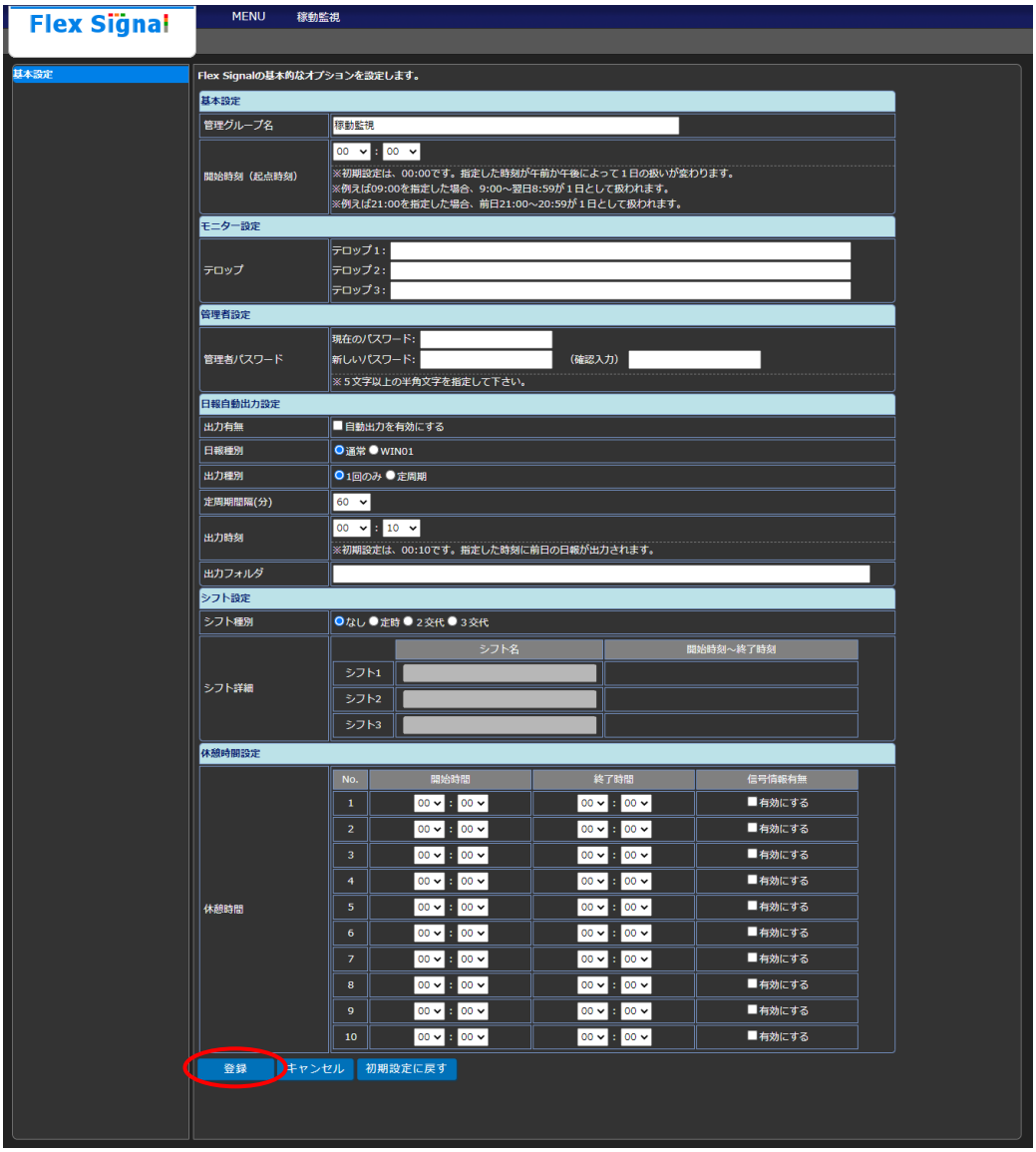
「図３：ウェブサイトメニュー基本設定選択画面」

４．「管理認証」の「パスワード」に「admin」を入力し、「OK」を選択して下さい。



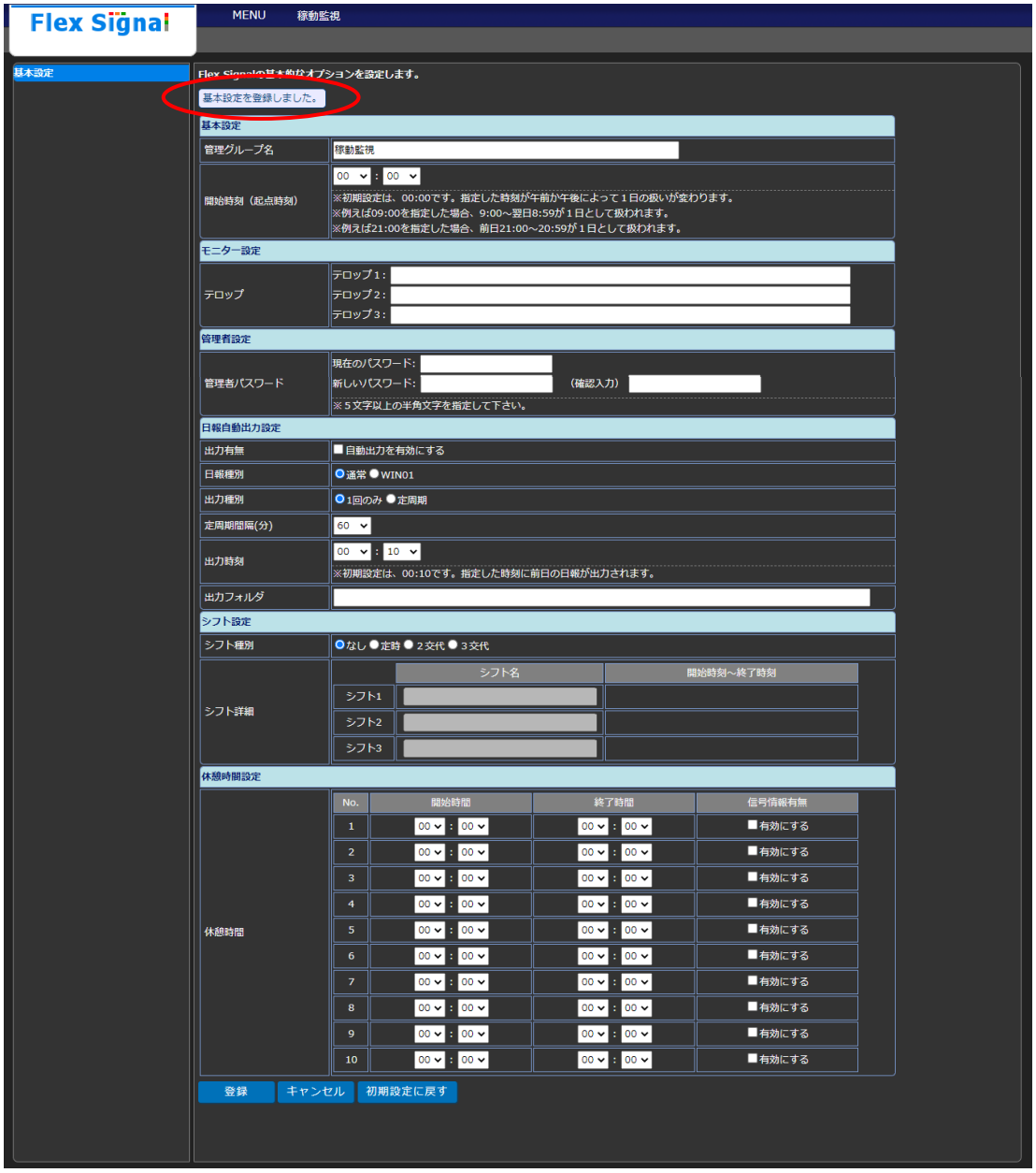
「図４：ウェブサイト管理認証画面」

5．「基本設定」の「登録」を実行して下さい。



「図５：ウェブサイト基本設定画面」

6．画面に 基本設定を登録しました。 メッセージが表示されることを確認して下さい。



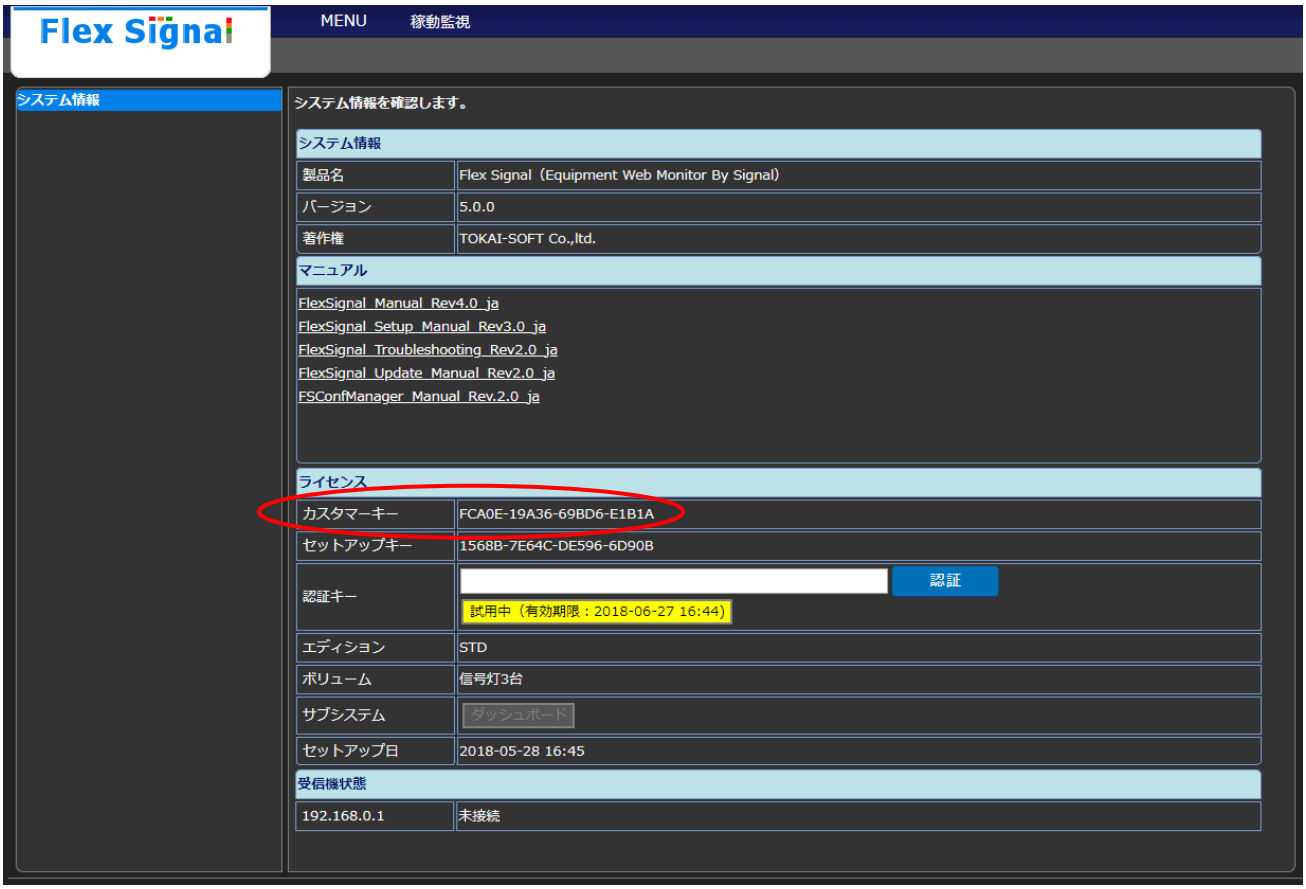
「図６：ウェブサイト基本設定登録完了画面」

7．ウェブサイト上部の「MENU」―「共通」―「その他」―「ヘルプ」を選択して下さい。

「図７：ウェブサイトメニューヘルプ選択画面」

8．「ヘルプ」の「カスタマーキー」が東海ソフトからお送りさせて頂いたメール[ユーザー情報登録完了のお知らせ]のキーと一致していることを、確認して下さい。

※CD インストールの方は「ライセンス証書」と一致しているかご確認ください。



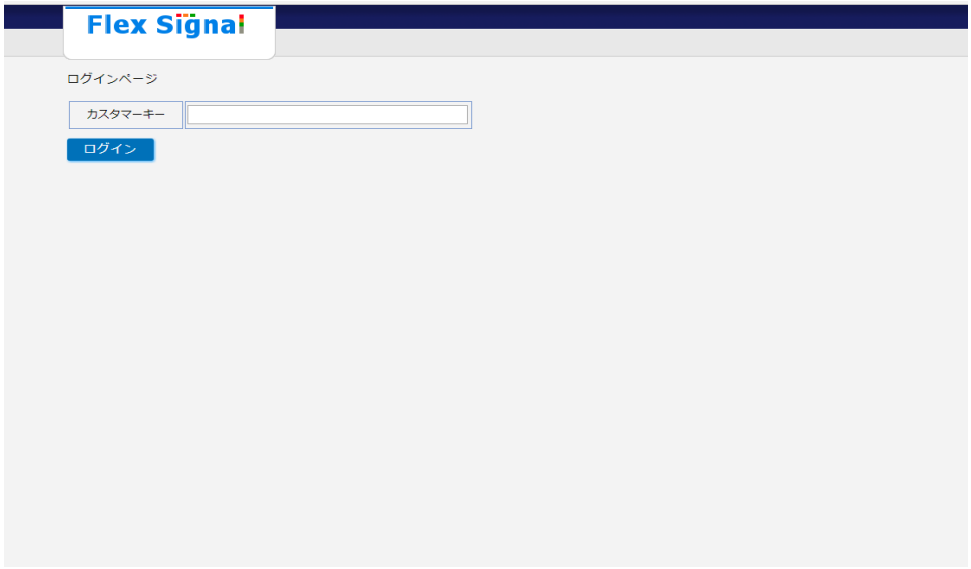
「図８：ウェブサイトヘルプカスタマーキー確認画面」

6． ライセンス認証

1．東海ソフトからお送りさせて頂いたメール[アクティベーション登録のご案内]をご用意ください。

※CD インストールの方はメールにて認証キー発行依頼の旨を東海ソフト(flexsignal@tokai-soft.co.jp)までお問い合わせ下さい。必ずメール本文にカスタマーキーとセットアップキーを記入してください。カスタマーキーとセットアップキーを確認後、認証キーを発行します。認証キー発行後、5.の認証作業までお進みください。

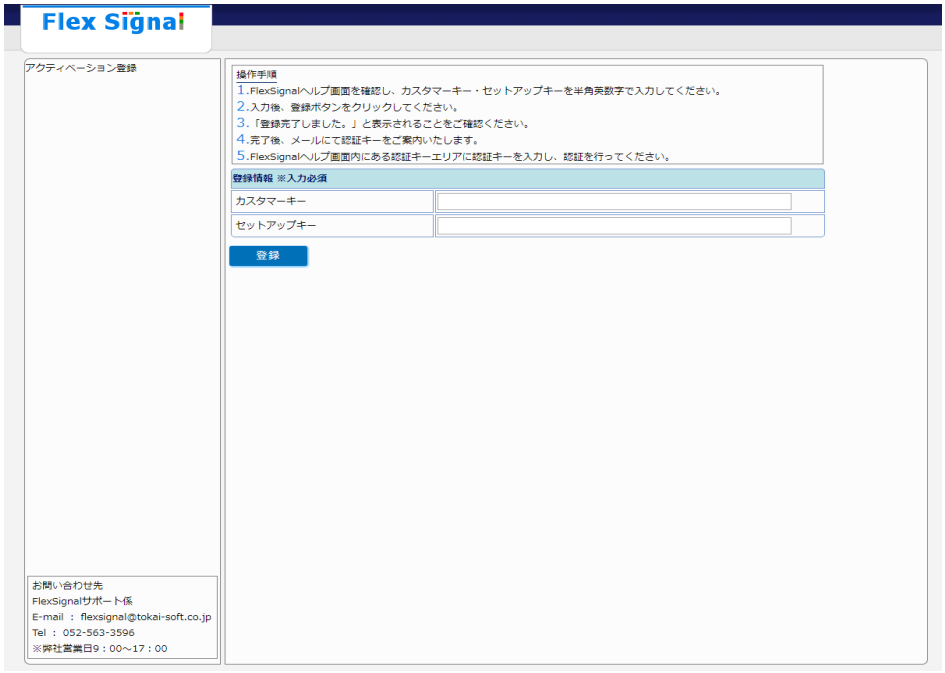
2．メール[アクティベーション登録のご案内]記載のアクティベーション登録用 URL にアクセス頂き、「カスタマーキー」を入力し、ログインしてください。



※ログインできない場合、画面上に赤文字で表示される文言とともに、サポート(flexsignal@tokai-soft.co.jp)までご連絡ください。

3．「カスタマーキー」「セットアップキー」を入力後、登録ボタンを押してください。

（カスタマーキーはログイン時、自動入力されます。）

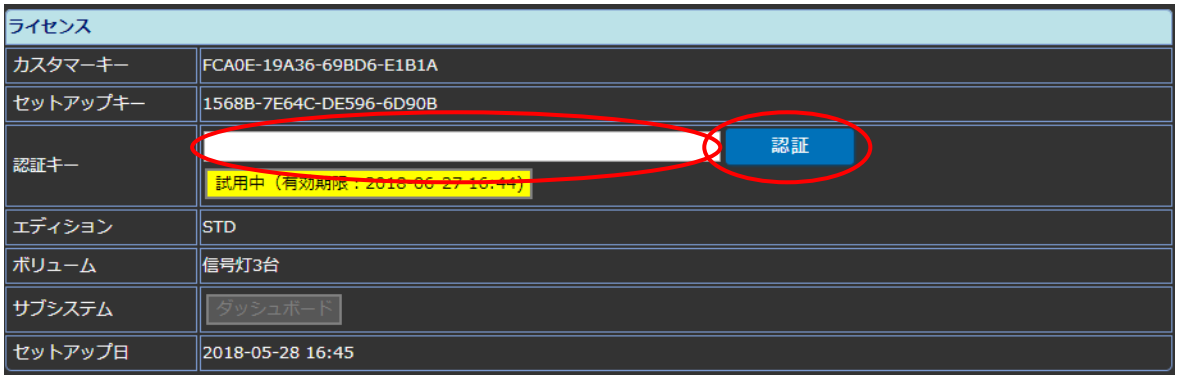


※「カスタマーキー」「セットアップキー」は、FlexSignal ウェブサイト上部の「MENU」―「共通」―「その他／ヘルプ」からご確認ください。（アクティベーション登録用サイトではありません。）

4．登録後、東海ソフトからメール[アクティベーション登録完了のお知らせ・認証キーのご案内]を送信いたします。

5．上記 4.でのメール[アクティベーション登録完了のお知らせ・認証キーのご案内]に認証キーが記載されております。「MENU」―「共通」―「その他／ヘルプ」画面の認証キー入力欄に、認証キーを入力し、「認証」ボタンを選択して下さい。

※CD インストールの方はメールにて認証キーを発行いたします。1.をご確認ください。



「図２：ライセンス認証画面」

認証が完了した場合、図 2 のライセンス認証画面で　試用中（有効期限：2015-10-08 12:14）　となっている部分が　認証済み　に変わります。また、購入したライセンス数が「ボリューム」の項目に表示されていることを確認して下さい。

認証キーを間違えてしまった場合は、再度正しい認証キーを入力して認証してください。

※認証前の「試用中　有効期限」はパソコンにインストールをした日から 1 ヶ月後の日付が表示されます。

７． 信号灯の設定

Flex Signal 取扱説明書より「信号灯設定」について確認し、設定を行って下さい。

LA6-POE については「FlexSignal - LA6-POE 連携設定資料」をご確認ください。

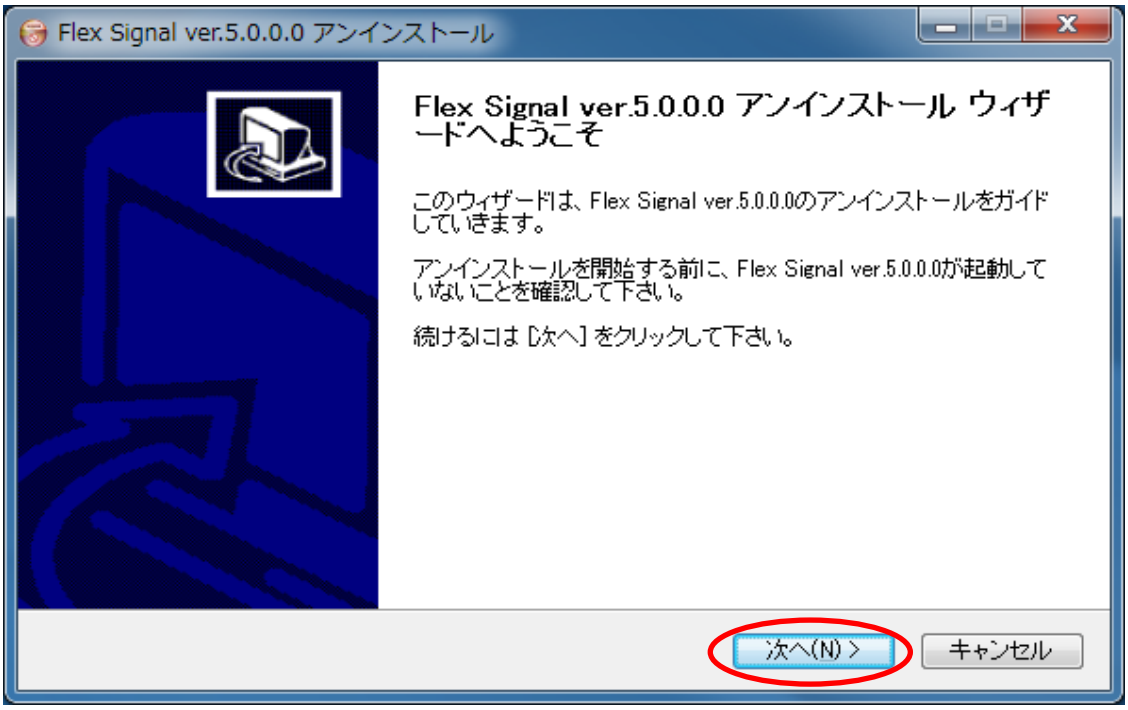
※信号灯設定をされていない場合、データは表示されません。

8． アンインストール

1． 「スタート」―「Flex Signal」の Uninstaller を起動してください。

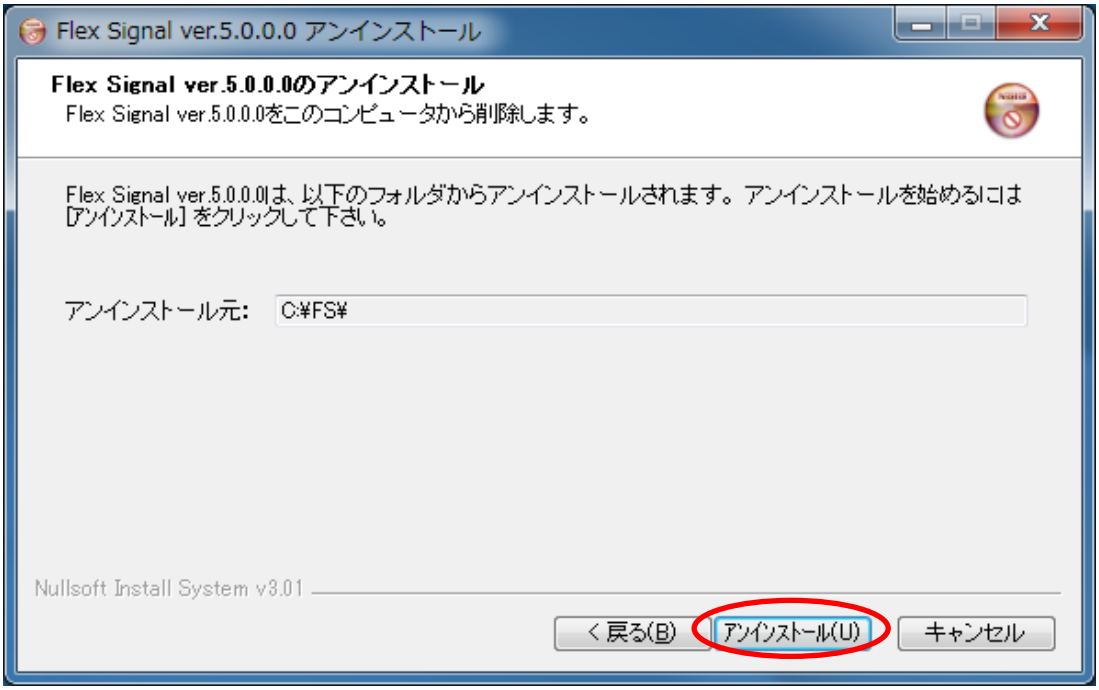
※管理者権限ありのユーザで行って下さい。

2． 「次へ」を選択して下さい。



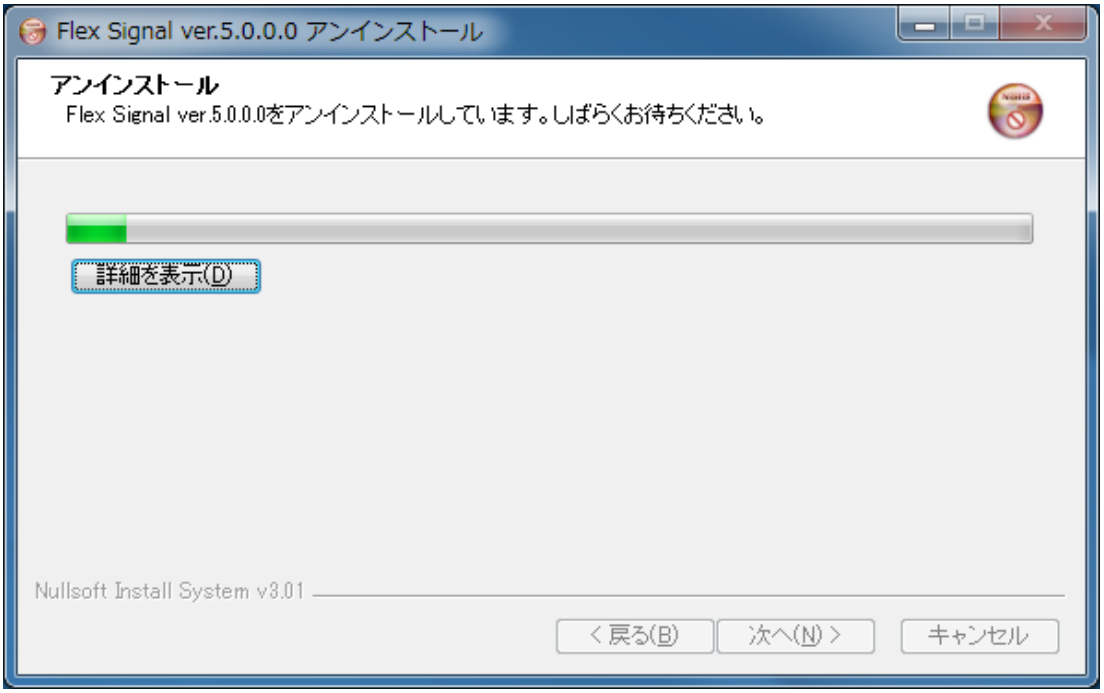
「図１：アンインストール画面」

3．「アンインストール」を選択して下さい。



「図２：アンインストール先画面」

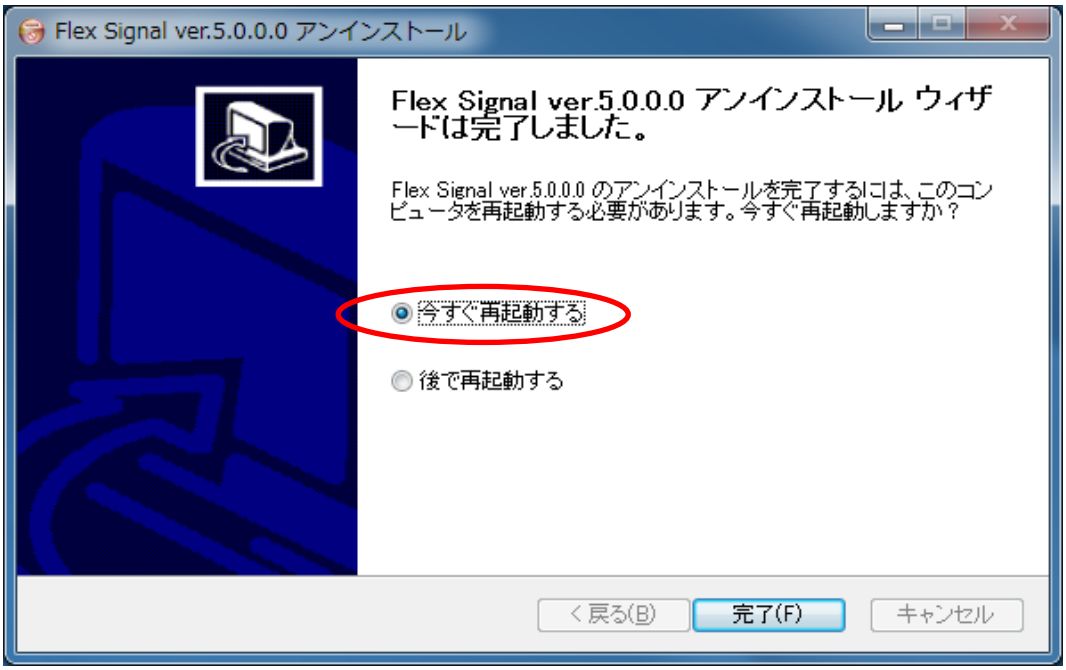
4．アンインストールが始まります。正常に終了するまでお待ち下さい。



「図３：アンインストール中画面」

5． アンインストール完了画面が表示されましたら「今すぐ再起動する」を選択して下さい。

※「後で再起動する」を選択した場合は、必ず手動で PC の再起動をして下さい。



「図４：アンインストール完了画面」

９． よくあるお問合せ

（1）インストール画面の「次へ」が押せない

IIS の設定項目が足りていない可能性があります。

① IIS の設定項目を確認してください。

（2）セットアップが正常に完了しない

インストール途中に起動する「FlexSignal 受信機通信設定ツール」が起動したままの可能性があります。

① FlexSignal 受信機通信設定ツールが起動していないことを確認してください。起動していた場合、「×」と選択し設定ツールを閉じてください。

② インストールの中止が表示された場合、ネットワークアダプターが有効になっていることを確認して下さい。

③ Flex Signal を一度アンインストールして、再度インストールを行って下さい。

（3）インストール完了したのにデータが出てこない

信号灯が設定されていない可能性があります。

① 「MENU」―「共通」―「その他／ヘルプ」画面から「FlexSignal_Manual_Rev〇.〇_ja」をダウンロードし、「個別信号灯設定」を参考に信号灯を設定してください。

（4）認証に失敗する

① 東海ソフトからお送りさせて頂いたメール[ユーザー情報登録完了のお知らせ]のカスタマーキーと FlexSignal のヘルプ画面のカスタマーキーに相違がないことを確認してください。

② インストールした PC のネットワークが切断されていないことを確認してください。

（5）信号灯の設定をしたのにデータが表示されない

受信機とインストールした PC が通信できていない可能性があります。

① 受信機とインストールした PC の接続方法が LAN 接続になっていることを確認してください。

② 「MENU」―「共通」―「ヘルプ」画面の受信機状態をご確認ください。

受信機の状態が「未接続」「切断」の場合は受信機との状態をご確認ください。

③ 接続した LAN に対して IP アドレスが設定されていることを確認してください。

④ パトライト様のアプリ等が起動していないことを確認してください。

⑤ 受信機のポート番号の設定を変更していないことを確認してください。

⑥ 信号灯個別設定の「識別 ID」は手入力ではなく、選択ボタンより表示された対象設備の送信機 MAC アドレスを選択してください。

⑦ 対象設備の電源が ON になっていることを確認してください。

⑧ PC を再起動し、FS Start が自動的に起動し数分後自動的に閉じることをご確認ください。

（6）他の PC から FlexSignal を見たい

① 本冊子 5.（2）ウェブサイト確認の項目 2 をご確認ください。

（7）HTTP エラーが表示される

エラー種別によって対応方法が異なります。

・HTTP Error 500.21 ⇒ コマンドの入力が必要です。

① スタートメニュー →「プログラムとファイルの検索」に「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動してください。

② コマンドプロンプトにて下記コマンドを入力し、Enter キーを押下して下さい。

インストール PC が 32 ビットの場合のコマンド

C:¥Windows¥Microsoft.NET¥Framework¥v4.0.30319¥aspnet_regiis -i

インストール PC が 64 ビットの場合のコマンド

C:¥Windows¥Microsoft.NET¥Framework64¥v4.0.30319¥aspnet_regiis –i

③ 「ASP.NET（4.0.30319）のインストールが完了しました」と表示されましたら完了です。コマンドプロンプトを閉じて頂き、再度 FlexSignal の画面を表示して、ご確認ください。

・HTTP Error 500.19 ⇒ ASP.NET4.7 にチェックが入っていない可能性があります。IIS の設定を再度ご確認下さい。

（8）信号灯設定にて識別 ID の一覧が表示されない

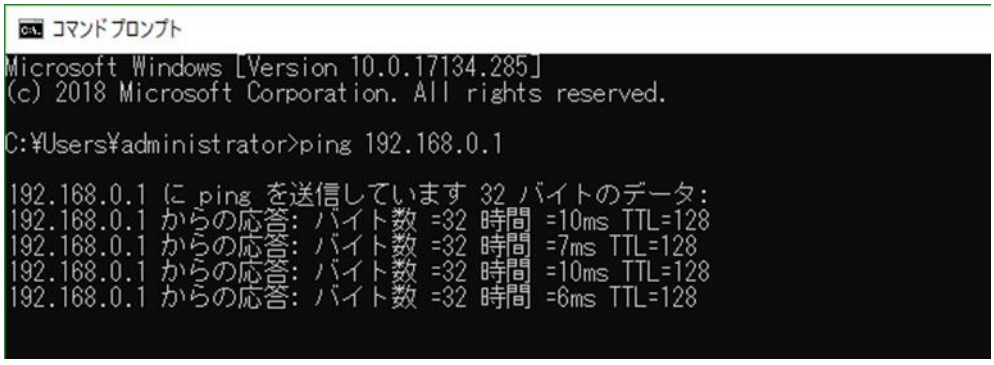
パソコンと受信機の通信環境がご用意されていない可能性があります。

① FlexSignal にて受信機の IP アドレスを登録していることを確認してください。※受信機の IP アドレスの確認・追加・変更について「FlexSignal 受信機通信設定手順書」をご確認ください。

② スタートメニュー →「プログラムとファイルの検索」に「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動してください。

③ コマンドプロンプトに「ping 受信機 IP アドレス」を入力し Enter キーをクリックしてください。（例：ping 192.168.0.1）

④ 受信機 IP アドレスからの応答が下図のように正常ではなく「要求がタイムアウトしました。」のようなエラーが表示される場合、通信環境をご確認ください。



（9）稼働状況グラフのトータルが１００%を超えてしまう

分母となる監視時間が各構成色の合計時間より少ない可能性があります。

① 信号灯設定の「監視灯」項目に何色かのチェックが入っているかどうかご確認ください。入っている場合、入っていない色の点灯または点滅時間が感じ時間に含まれないため 100%を超える原因となります。

② 信号灯設定の「監視灯」項目に固定で設定されている監視時間をご確認ください。予定以上の点灯または点滅時間が発生している場合 100%を超える原因となります。

（１０）LA6-POE　を使用したい

① LA6-POE については「FLEXSIGNAL - LA6-POE 連携設定資料」をご確認ください。

技術をカタチで提案します
東海ソフト株式会社